

にかほ市長 横山 忠長

あけましておめでとうございます。

振り返りますと、昨年は災害の多い1年であったと感じております。広島での豪雨災害、御嶽山の突然の噴火、そして長野県での地震、阿蘇山の噴火等々、山形県蔵王山でも火山性微動が確認されております。幸い、本市においては重大な災害は起こっていませんが、常日頃からの備えと避難路・避難場所の整備をはじめとする減災、防災対策を引き続き粛々と講じる必要があると考えております。

さて、年末に国政選挙が行われ、第3次安倍政権がスタートしました。アベノミクスと言われる経済政策をさらに推し進め、地方の隅々まで豊かさが実感できる環境を創り出すといたしますので、大いに期待をしているところであります。

本市においては、新たなコールセンターや製造業の企業誘致、市内既存企業の業務拡張などで緩やかではありますが、雇用環境が改善されつつあります。

しかしながら、全国的に少子高齢化に伴う人口減少が大きな課題となっており、また、にかほ市にとって本年は、合併10周年という記念すべき節目の年です。本年を地方創生のスタートの年と位置づけて、人口減少に歯止めをかけるため、さらなる産業振興による雇用環境の改善や子育て環境の充実、定住化の促進など、市民といっしょになって知恵を出し合い、住みよいまちづくりにもまい進すべく決意を新たにしております。

今年の干支は「未^{umi}」であります。未という字は枝が生い茂っている木の形で、まだ枝が伸びきっていない様子を表したものとわれ、そこから未来など、飛躍につながる言葉として用いられているようです。さらに、羊は群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物ともされております。

迎えられました新しい年が、皆様にとりまして、災害のない平穏で幸運な年となりますよう、心から祈念いたしまして、新春のごあいさついたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます

にかほ市議会議員

菊地 衛

あけましておめでとうございます。

市民の皆様にはご健勝にて、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

にかほ市が誕生してから、本年度10年目の節目となります。皆様ご承知の通り、昨年4月には合併して3回目の市議会議員選挙が行われ5月より新しい体制で議会活動を展開しております。その礎となるのが平成23年10月に制定した「議会基本条例」であり、市民の皆様に分かりやすい、開かれた議会を目指し、市民と議会の意識に大きな乖離が生じないように努力をしながら、更なる議会改革にも取り組んでおります。

9月には、議会として災害時にどう対処していくかとの行動規範を「災害発生時の対応要領」にまとめ、当局との連携を密にして迅速な復旧、救援活動に資することを目的として制定しました。

11月には、市内12カ所で開催となる議会報告会を開催し、延べ129人の市民の皆様にご出席をいただいたことに感謝を申し上げます。そのときにご発言いただいた様々な提言、要望、質問等々を現在精査中で公開に向けて作業を進めております。今後共こういった活動を通して、市民目線の身近な議会になるよう傾注してまいります。

少子高齢化に伴う社会の構造的変化、雇用や地域経済の課題、観光やインフラ整備による地域活性化の伸展等々行政課題は山積しており、地方分権が加速する状況下で増々地方議会の役割が拡大しております。それらの課題解決のため、議会が一丸となって職責を果たして参ります。

今年一年、市民の皆様にとりまして良い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます

